

③
ポイント

メシアの聖誕③

マタイ2章1～12節

「神の栄光に導かれて」

～東方の博士たちの訪問～



【今日のアウトライン】

0. プロローグ

博士たちとは？

- I. ヘロデに謁見する博士たち
- II. イエスを礼拝する博士たち
- III. まとめと適用

博士たちに学ぶ信仰
主を信じ、従う者の幸い



聖誕像(ネイティビティ)の登場人物といえば？



【東方の博士たちって何者?!】

- 6世紀には王とされ、10世紀には名前がついた。
(ガスパール、メルキオール、バルタザール)
- 15世紀には、
三大陸(ヨーロッパ、アジア、アフリカ)から来たと!!
- ついには、信仰の対象にまで!!!



↑
聖書に3人とは
書いてない!!

←
実際は、2年後に訪問!!
イエス2歳のとき!!

博士たちの本当の
正体は？
真実の目的は？



罪を犯し、神から離れた人を
滅びから救うため、神は、
救い主を送ると約束された。

まずは、聖書の歴史の
おさらいから!!



その後も、人は罪を重ねた。
悪霊と交わり、
大洪水の裁きを招いた。

生き残ったノアから増え広がった
人類は、巨大な塔を築き、
自らが神になろうとした。

人は、共通の言葉を失い、
世界に散らされた。

人間の良心も国家も、
地上に平和を作り出すことは
できなかった。



神は、アブラハムという人を選び、その子孫から、救い主を誕生させると約束された。



アブラハムの子孫は、イスラエル民族となった。
エジプトを脱出し、カナンの地に王国を築いた。



イスラエルは、神に背き、偶像を拝み、罪を重ねた。
とうとう、神に裁かれ、バビロニアに滅ぼされてしまった。
人々は、捕囚となり、バビロンの都に連れて行かれた。



【バビロン捕囚 BC587】

新バビロニア帝国

エルサレム

バビロン

エルサレムの主だった人々、王族や祭司たちを中心に
数万から10万人以上と言われる人々が、バビロンに捕囚として連行された。

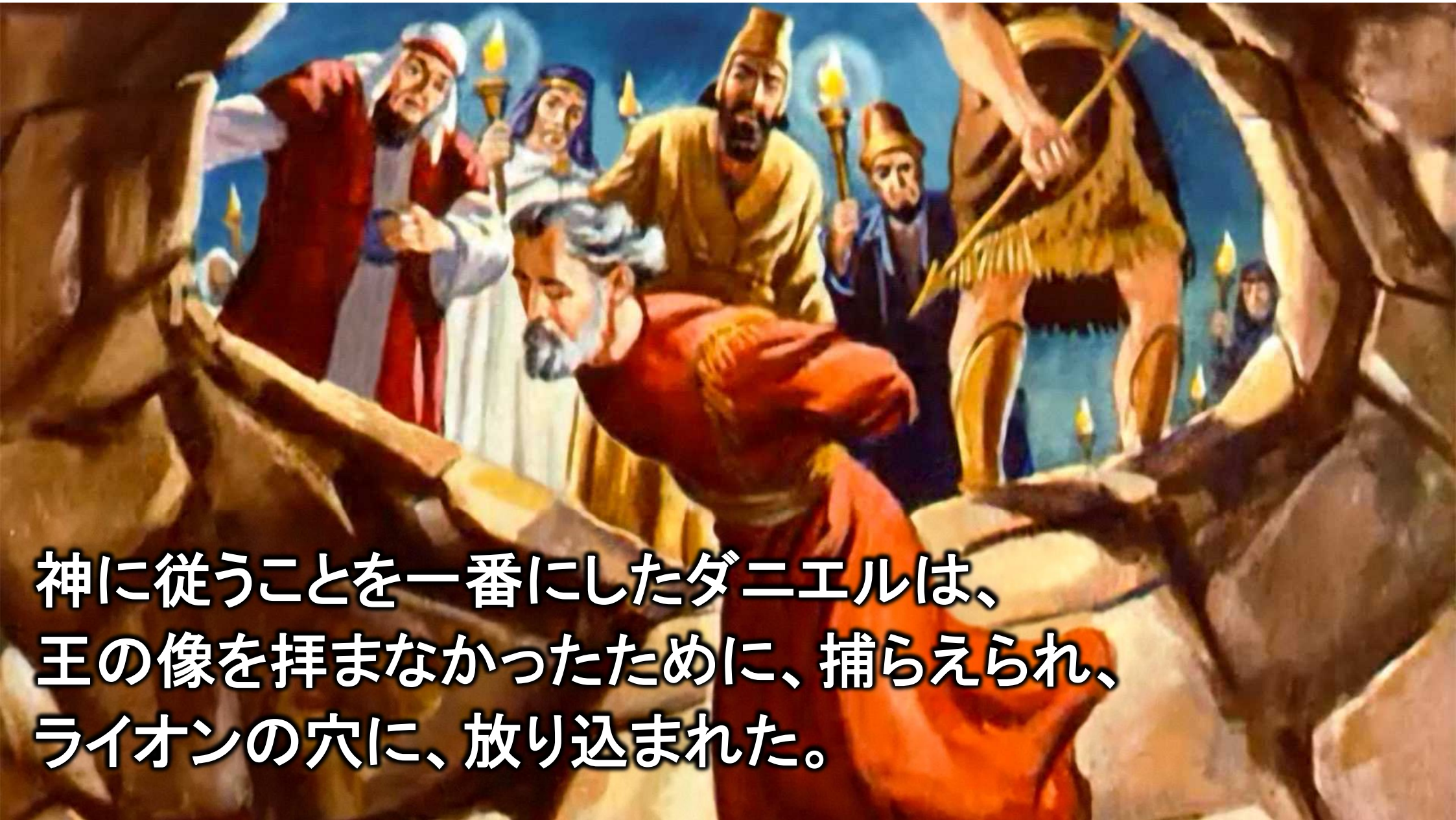
イスラエルは、捕囚として、
バビロンで70年を過ごした。

世界7不思議の一つと言われた
バビロンの空中庭園





イスラエル人のダニエルは、バビロニア王の夢を
解き明かし、王に仕えるようになった。



神に従うことを一番にしたダニエルは、
王の像を拜まなかったために、捕らえられ、
ライオンの穴に、放り込まれた。



神は、ライオンの口を閉ざし、ダニエルを救った。
バビロニアの人々は、真実の神を恐れ、ひれ伏した。

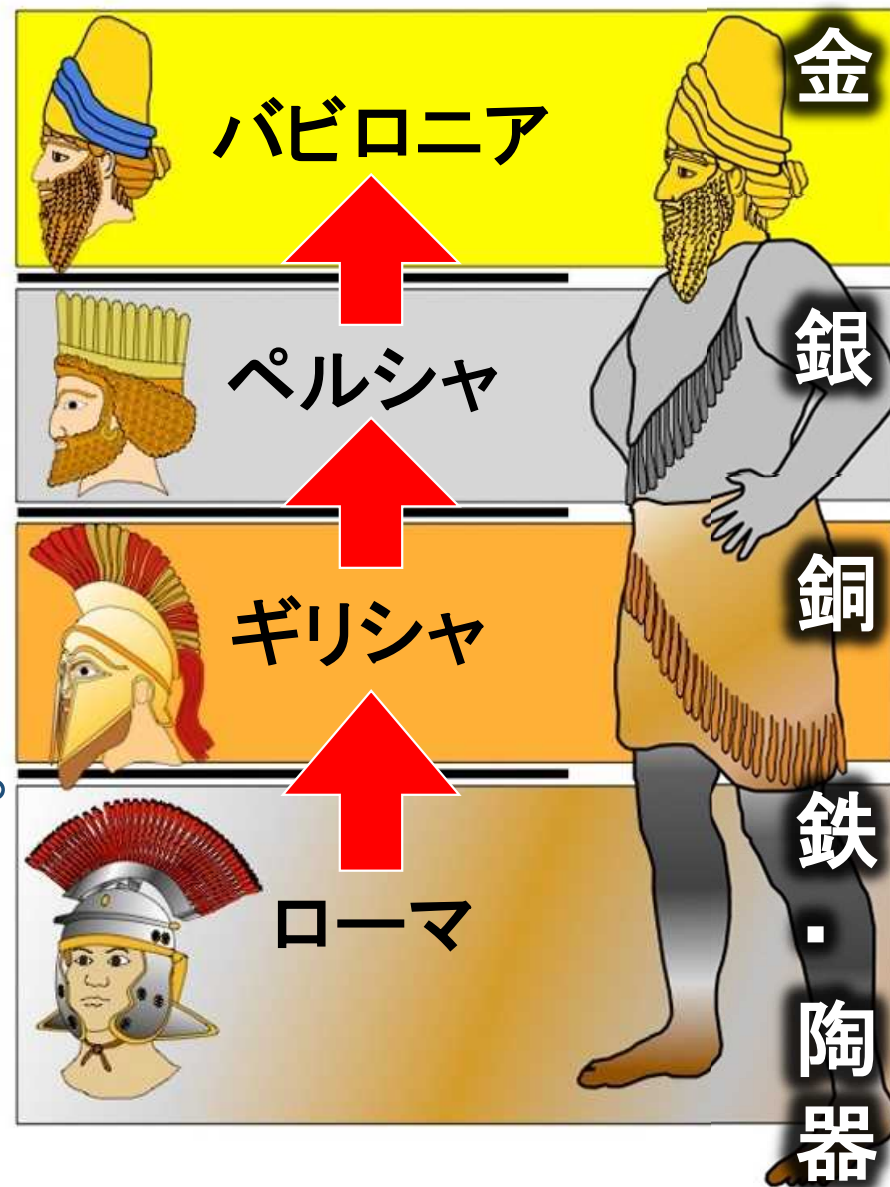


ダニエルは、バビロニアの滅亡と、その後に起こり、
世界を支配する国々について預言した。
そして、救い主が現れ、すべての民を解放する時を告げた。

【王の夢】 ダニエル書2:31～33

王さま。あなたは一つの大きな像をご覧になりました。見よ。その像は巨大で、その輝きは常ならず、それがあなたの前に立っていました。その姿は恐ろしいものでした。その像は、①頭は純金、②胸と両腕とは銀、③腹とももとは青銅、④すねは鉄、足は一部が鉄、一部が粘土でした。

- ダニエルが説き明かした王の夢は、4つの世界帝国の変遷を示していた。



帝国の変遷

バビロニア	絶対的な一人の王が、一つの王国を治める
ペルシャ	法が、王の上にある。
ギリシャ	人間中心主義。 民主主義の結末として、独裁に至る。
ローマ	独裁化した国々が、より強力な一人の独裁者によって一つに束ねられていく。



	バビロニア (王国)	金
	ペルシャ (立憲君主)	銀
	ギリシャ (民主・独裁)	銅
	ローマ (共和制・帝国主義)	鉄・陶器

※聖書的には、現在は、ローマ的世界の延長線上にある。



あれから、500年の時が過ぎた。
ローマ帝国が、世界を支配し、
イスラエルも、その下で苦しめられていた。
多くの人々が、救い主を待ち望んでいた。

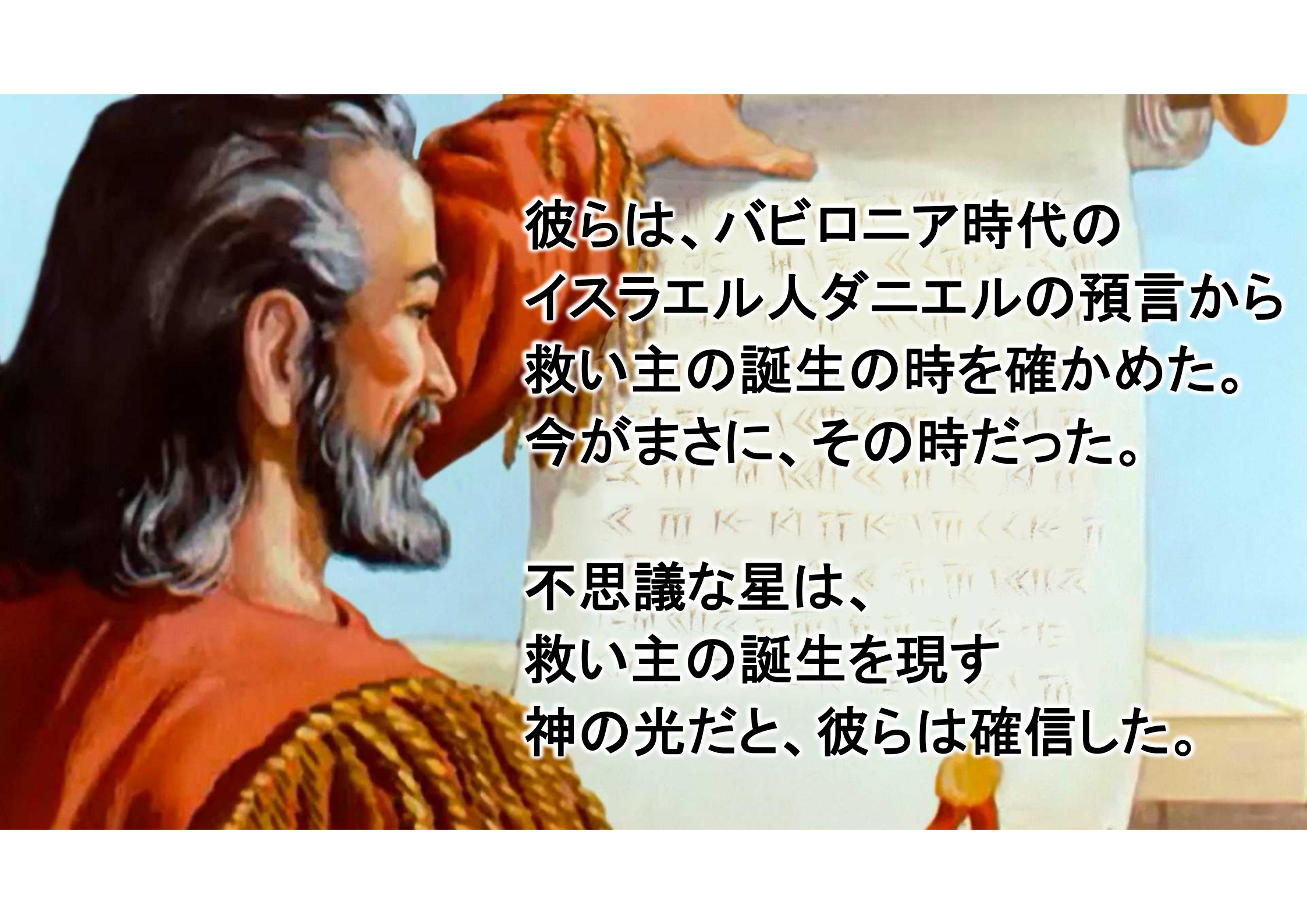
イスラエルのはるか東、バビロンで、あるとき、博士たち、
占星術の学者たちが、不思議な星を見つけた。
彼らは、いにしへの預言を思い出した。

※バビロンでは、星の運行によって、
農耕の時を知り、国を治め、未来を占っていた。

【バラムの預言】

ヤコブから一つの星が上り、
イスラエルから一本の杖が起こり、
モアブのこめかみと、
すべての騒ぎ立つ者の
脳天を打ち砕く。

民数記24:17

A man with a grey beard and long hair, wearing a red robe, is shown in profile, looking at a scroll of text. The scroll is held by another person whose hand is visible at the top. The background is a light blue sky. The text on the scroll is in a stylized, ancient script.

彼らは、バビロニア時代の
イスラエル人ダニエルの預言から
救い主の誕生の時を確かめた。
今がまさに、その時だった。

不思議な星は、
救い主の誕生を現す
神の光だと、彼らは確信した。

【70週のメシア預言】

あなたの民とあなたの聖なる都については、七十週が定められている。

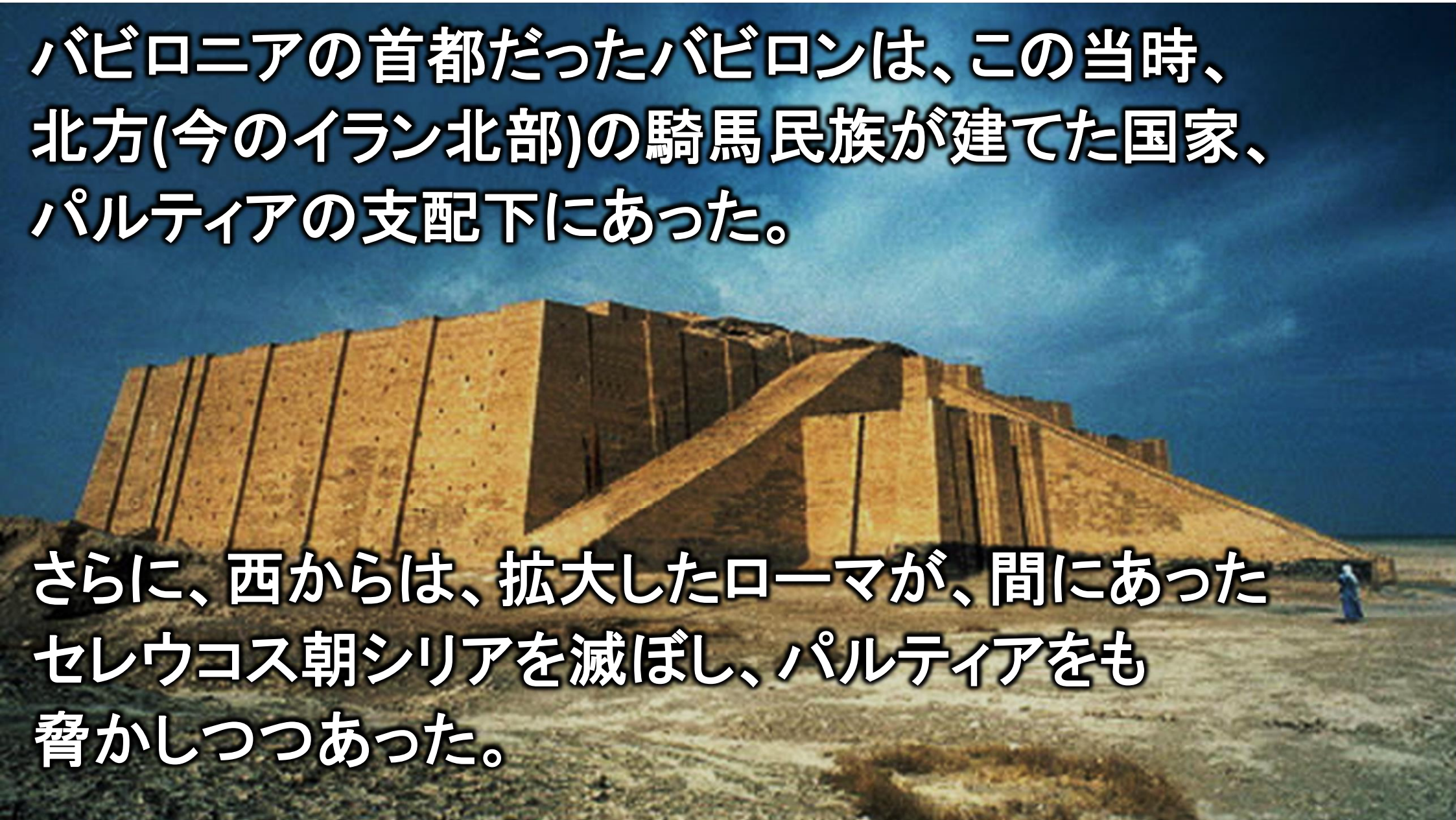
それは、そむきをやめさせ、罪を終わらせ、咎を贖い、永遠の義をもたらし、幻と預言とを確証し、至聖所に油をそそぐためである。

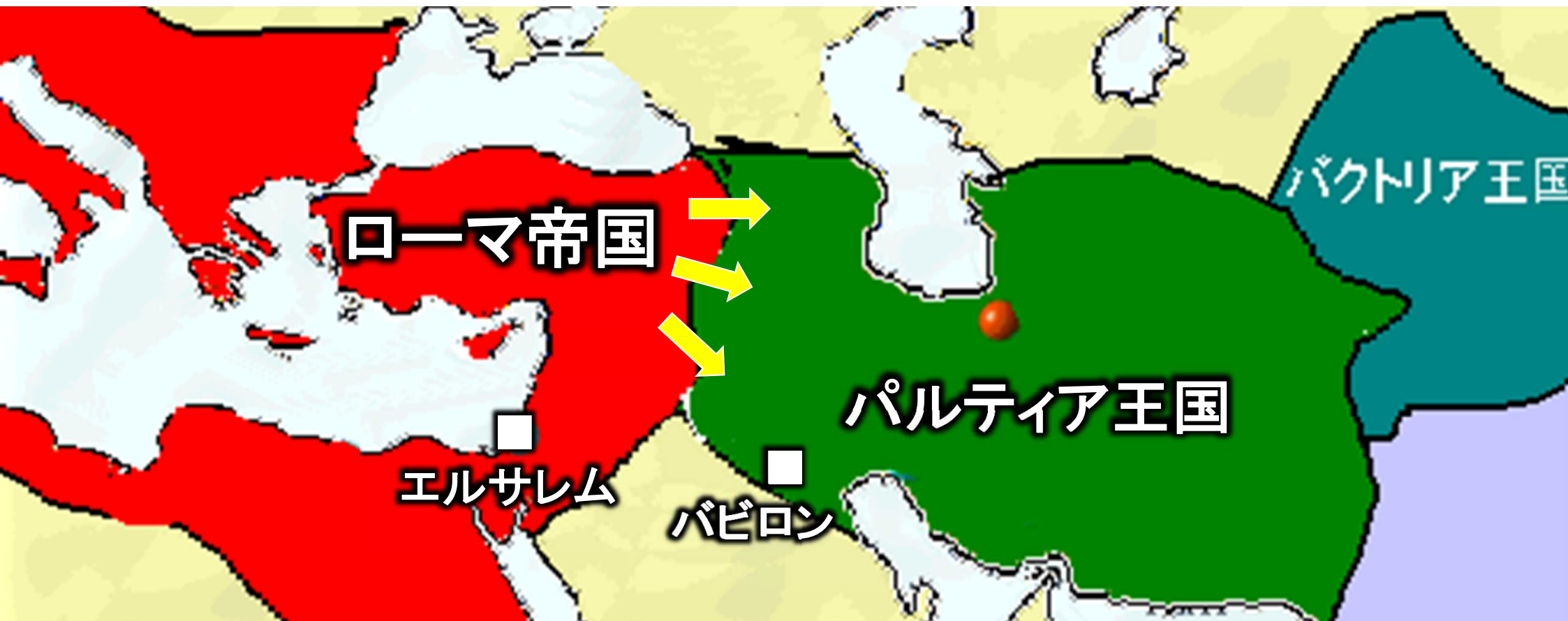
ダニエル9:24～26

70週の預言をダニエルに告げた天使ガブリエルが、マリアにメシア懐妊を告知。

バビロニアの首都だったバビロンは、この当時、
北方(今のイラン北部)の騎馬民族が建てた国家、
パルティアの支配下にあった。

さらに、西からは、拡大したローマが、間にあった
セレウコス朝シリアを滅ぼし、パルティアをも
脅かしつつあった。





さらに、西からは、拡大したローマが、間にあった
セレウコス朝シリアを滅ぼし、パルティアをも
脅かしつつあった。後に、バビロンもローマの支配下に!!



「救い主を拝みに行こう。」
バビロンの何人もの博士たちが、
イスラエルに向けて旅立った。
キャラバン隊を組織し、
私財を投げ打っての
命がけの旅だった。
そして、2年の月日が流れた...

I.ヘロデに謁見する博士たち

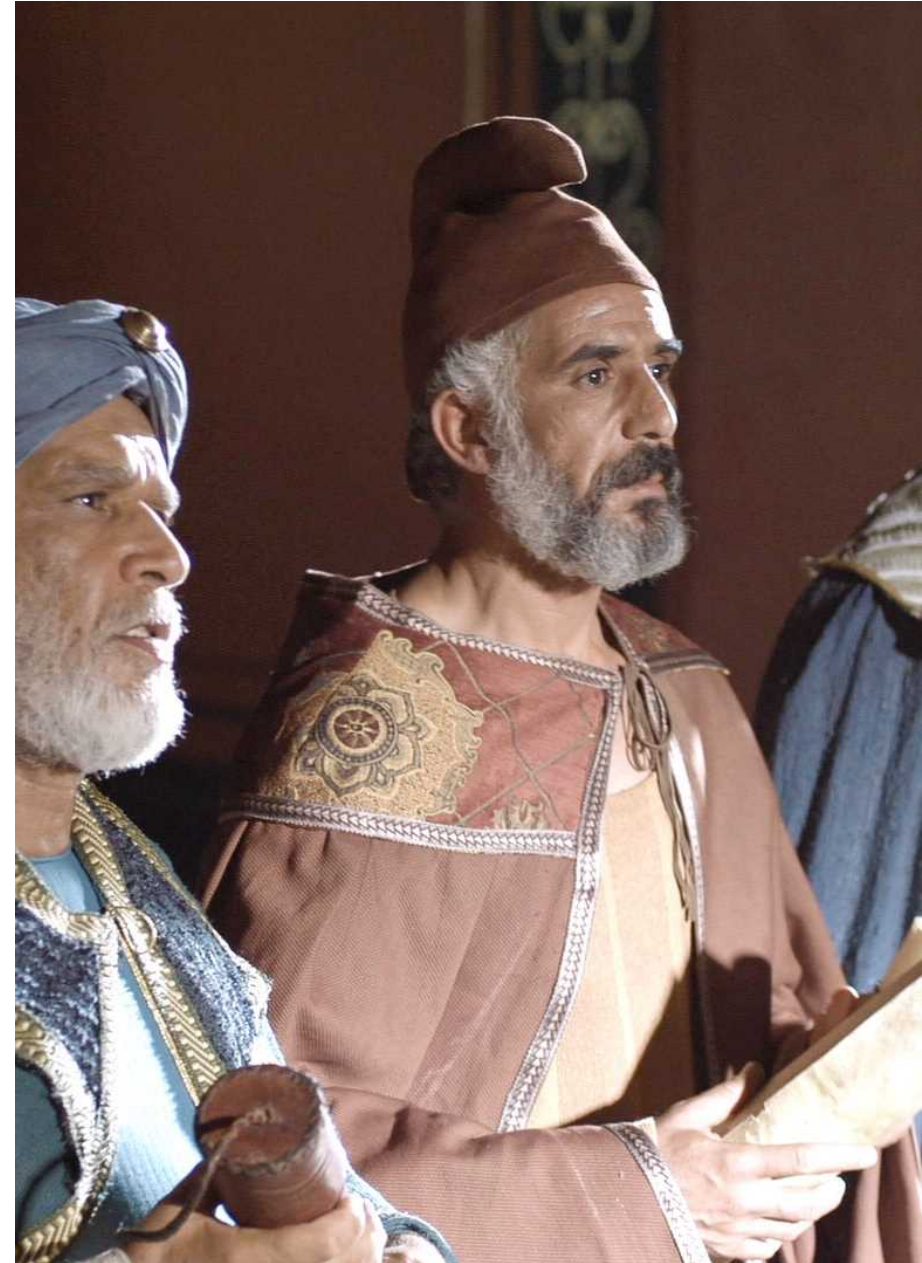
マタイ2:1~8



【東方の博士の来訪】マタイ2:1~2

イエスが、ヘロデ王の時代に、ユダヤのベツレヘムでお生まれになったとき、見よ、東方の博士たちがエルサレムにやって来て、こう言った。

「ユダヤ人の王としてお生まれになった方はどこにおいでになりますか。私たちは、東のほうでその方の星を見たので、拝みにまいりました。」



バビロンから
エルサレムまで 約2,000km
博士たちは、
2年かけて、命がけの旅をしてきた。
ただメシアを礼拝するため!!

バビロン

エルサレム
ベツレヘム

⇒かつて、イスラエルの始祖
アブラハムが通ったのと同じ道のり

【恐れ惑う王】マタイ2:3～4

それを聞いて、ヘロデ王は恐れ惑った。*

エルサレム中の人も王と同様であった。

そこで、王は、民の祭司長たち、学者たちをみな集めて、キリストはどこで生まれるのかと問いただした。

* ヘロデ王は、エサウの子孫エドム人の末裔イドマヤ人。ローマに取り入ってユダヤの王となり、表向きユダヤ教に改宗。

* ユダヤの王なら当然知っているべきこと



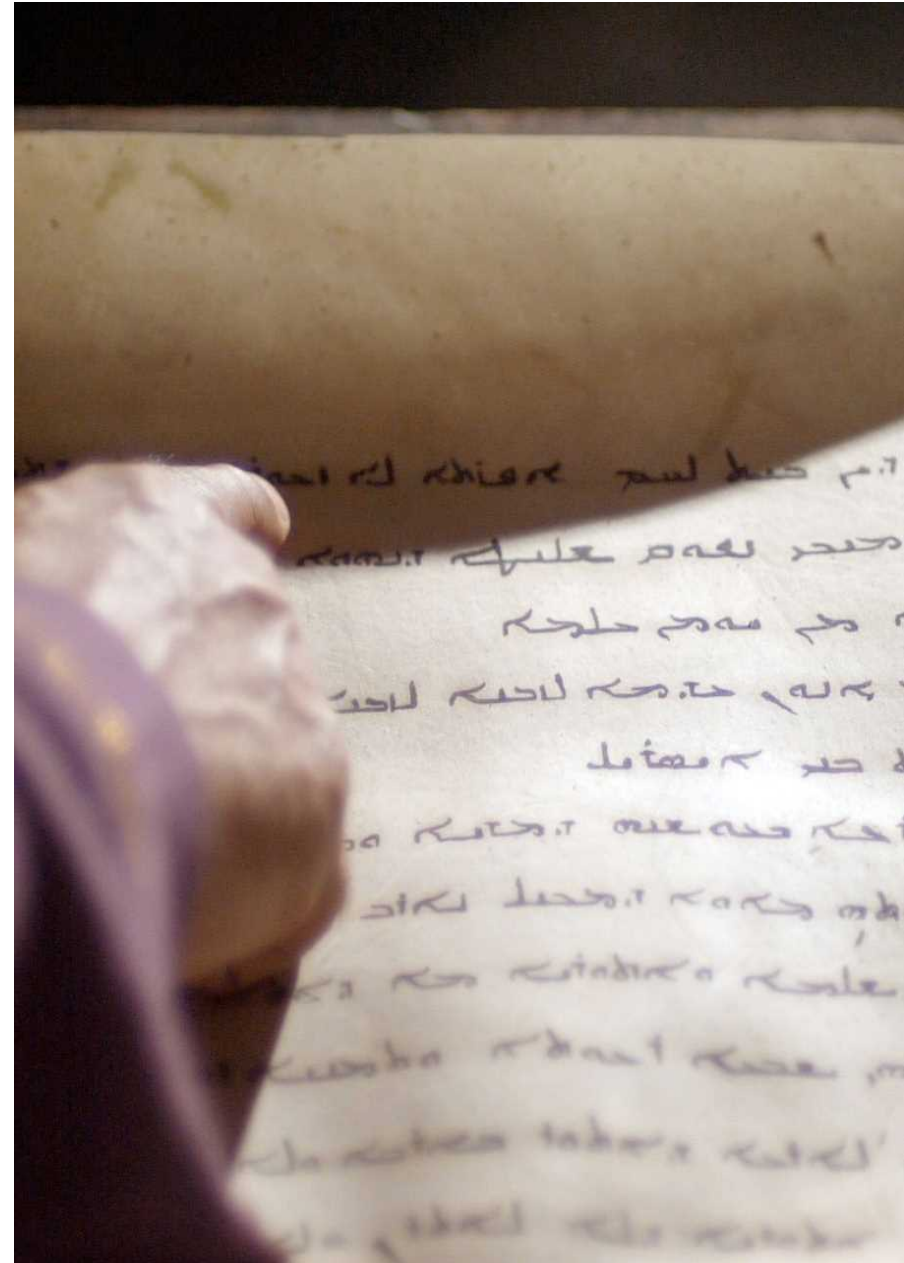
【救い主の預言】マタイ2:5～6

彼らは王に言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者によってこう書かれているからです。

『ユダの地、ベツレヘム。あなたはユダを治める者たちの中で、決して一番小さくはない。わたしの民イスラエルを治める支配者が、あなたから出るのだから。』*」

* ミカ書5:2の預言。

■ バラムとダニエルの預言しか知らない博士たちが知らないのは当然のこと。



【ヘロデの陰謀】マタイ2:7～8

そこで、ヘロデはひそかに博士たちを呼んで、彼らから星の出現の時間を突き止めた。* そして、こう言って彼らをベツレヘムに送った。

「行って幼子のことを詳しく調べ、わかったら知らせてもらいたい。私も行って拝むから。」

* メシアの年齢を確認したヘロデ。

■ ヘロデは、救い主を
殺す機会をうかがっていた。



A night sky filled with stars, with a prominent bright star on the left side. Below the sky is a dark silhouette of a landscape, possibly a hill or a mountain range. The text is overlaid on the right side of the image.

Ⅱ. イエスを礼拝する博士たち

マタイ2:8～12

【星の出現】マタイ2:9～10

「彼らは王の言ったことを聞いて出かけた。
すると、見よ、東方で見た星*が彼らを先導し、
ついに幼子のおられる所まで進んで行き、
その上にとどまった。

その星を見て、彼らはこの上もなく喜んだ。」

* 二年ぶりに神の栄光が輝き、
旅の最後を神ご自身が導いた。

【幼子への礼拝】 マタ2:11

そしてその家*に入って、母マリヤとともにおられる幼子*を見、ひれ伏して拝んだ。
そして、宝の箱をあけて、黄金、乳香、没薬を贈り物としてささげた。

* 家に移り住んでいたヨセフら。

* イエスは、2歳になっていた。



【三つの宝物の意味】 ルカ2:10～11

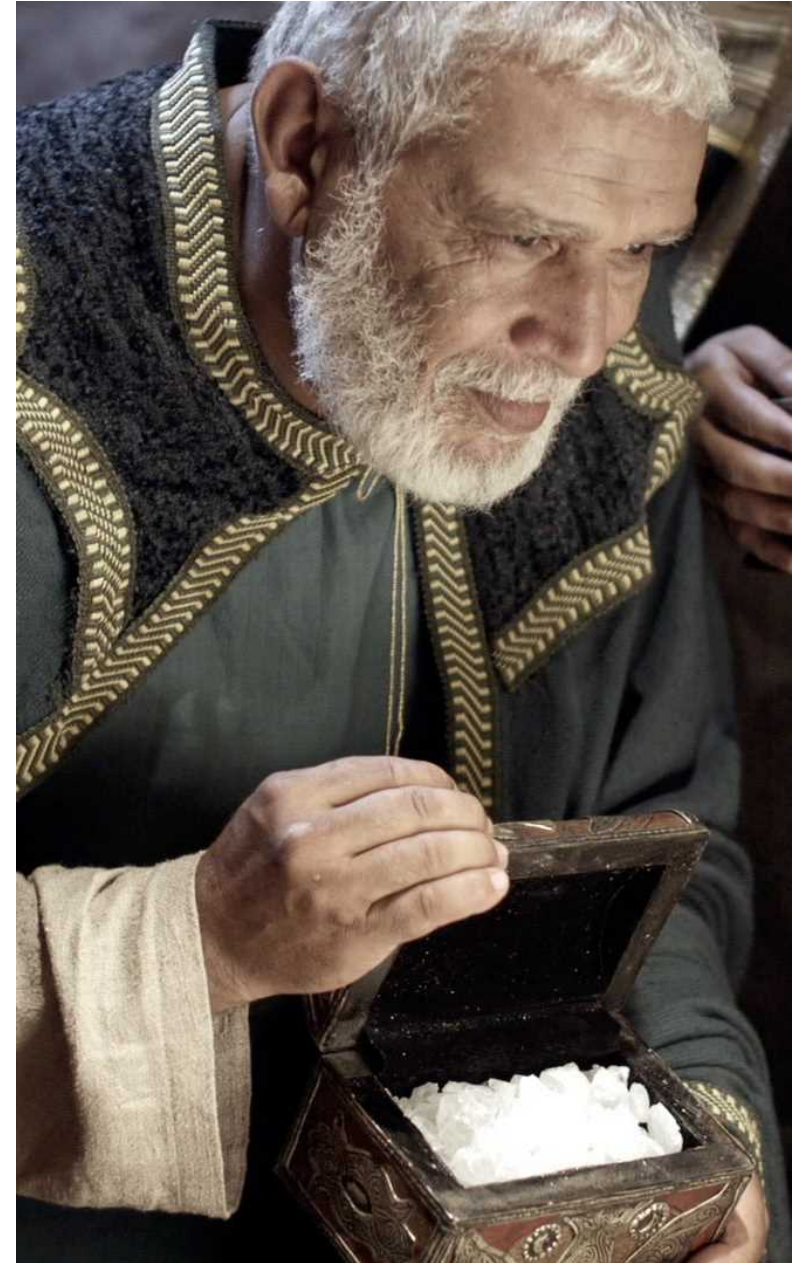
メシアの三つの性質を現す

- ①黄金 ...王としての身分。
- ②乳香 ...神性。神への神聖な供え物。
- ③没薬 ...死。死者に塗る腐臭防止剤。

メシアであるイエスは、

- ①世界を治める**王**であり、
- ②礼拝すべき**神**であり、
- ③人類の**罪の贖い**として死ぬ方である。

...博士に、③の意図はどこまであった?!



【帰路につく博士たち】 マタ2:12

それから、夢でヘロデのところへ戻るなという戒めを受けた*ので、別の道から自分の国へ帰って行った。

- * 神が夢を通して働きかけた。
打ち砕かれたヘロデの陰謀。
- 信仰者の礼拝は、
主ご自身が守り、導かれる。



Ⅲ. まとめと適用

博士たちの示した信仰
主を信じ、従う者の幸い



【聖書におけるバビロンとは？】

- 巨大な塔(バベルの塔)を建て、人類が神に逆らった地。
- エルサレムを破壊し、バビロン捕囚を引き起こした。
- 世の終わりには、反キリストの世界帝国の中心に!!
➡それが、大バビロン。
- ハルマゲドンの戦いの軍勢も、主力は大バビロンから来る。
- バビロンとは、神への反逆者の代名詞。

バビロンからやってきた、真実の礼拝者 それが、博士たち!!

【博士たちの示した信仰】

★博士たちの信じたこと★

- ・メシア、救い主が、イスラエルに誕生するという、はるか昔から伝えられてきた預言を信じていた。
- ・不思議な星を、メシアの誕生のしるしと信じた。
(神の栄光・シャカイナグローリー)

★博士たちが行ったこと★

- ・お金、時間、労力、危険…。大きな犠牲を払って、ただ、メシアを礼拝するためにやってきた。

★博士たちに与えられたこと★

- ・メシアに礼拝した、異邦人の最初の礼拝者となった。
- ・救い主を信じ、救われた彼らには、
神の国での、永遠の喜びの礼拝の時が待っている。



【博士たちから、学ぶこと】

■ 人が、神に対してとる態度は、二つに一つ。

① 神に従うか？

② 神を従わせようとするか？

...神を従わせようとする。→これが罪の根源。

神の言葉も聖書も自分の思いに合わせてようとする。

■ 博士たちは、神の言葉を信じ、神に従い、神に出会った。

エリサベツも、ザカリアも、マリアも、ヨセフも、羊飼いたちも。

あなたは、神に従っていますか？

それとも、神を従わせようとしていませんか？

【クリスマスは、神様のプレゼントを受け取る時】

★博士たちが受け取ったプレゼントとは？

罪の赦し、苦しみからの解放。

どんな時にも失われることのない平安。

神の愛の中で、永遠に喜びのうちに生きる、その約束。

★神様のクリスマスプレゼントを受け取るために信じること

「主イエス・キリストは、

わたしの罪のために十字架にかけられ、

死んで葬られ、復活された。」

福音を信じ、主イエスをあなたの人生に迎え入れるだ!!

福音を携え、主に従い、歩み出すとき、
主が、道を拓いてくださる。

福音を伝えることの喜び。
人が救われる瞬間に立ち会わされることの恵み。

聖霊に満ちあふれた、真実の礼拝をささげることの平安。

「しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する
時が来ます。今がその時です。」 ヨハネ 4:23

ただ主に信頼し、聖霊にゆだねて、喜んで主を礼拝しよう!!

「天のお父さま。

あなたに背(そむ)き、あなたから離(はな)れていた
わたしの罪(つみ)をゆるしてください。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

- ①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、
- ②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、
- ③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

東方(とうほう)の博士(はかせ)たちのように、
神(かみ)の言葉(ことば)を信頼(しんらい)し、
従(したが)う者(もの)としてください。

感謝(かんしゃ)して、主(しゅ)イエス・キリストの
御名(みな)によって 祈(いの)ります。アーメン」